

平成28年度事務事業評価シート(27年度)

◎基本情報

事務事業名		第六次総合計画(後期基本計画)策定事業		担当 部署	企画総務部 戦略企画課	
総合計画体系				根拠法令 計画など	地方自治法、鳴門市自治基本条例、鳴門市総合計画策定に関する要綱、鳴門市附属機関設置条例	
基本政策(大項目)	4	おおきく躍動みんなで創るまちづくり		事業 期間	開始	平成 27 年度
政策(中項目)	1	全員参加で創るまち なんと			終期	~平成28年度
(小項目)		情報の共有化				
施策	4	情報の共有化の推進				
基本事業	2	公正の確保と透明性の向上				

◎事業概要(PLAN)

事業 対象	誰(何)を対象にしているか	☐ 個人 ☐ 世帯 ☐ 団体 ☐ その他 ☐ 内部管理 市民等						
事業 目標	対象をどのような状態にしたい(目指す)のか	第六次総合計画の基本構想にある将来都市像の実現						
事業 計画	27年度に何を計画していたか	第六次総合計画実施計画に位置付ける各事務事業の進捗管理を行う。 また、第六次総合計画後期基本計画の策定に向けて、市民意識調査を実施する。						
成果 目標	事業目標の達成度合	指標名	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	単位
		後期基本計画策定の進捗割合		10	100			%

◎実施結果(DO)

事業 実施 内容	27年度は目標を達成するため、手段としてどのような活動を行っているのか	第六次総合計画実施計画に位置付ける事務事業の進捗管理を行った。 また、後期基本計画の策定にあたり、市民意識調査を実施し、市民生活の現状や社会情勢に対する意識、望まれる施策などについて、幅広く市民の意向を把握した。					
事業実施手法		☒ 市実施 ☐ 一部委託 ☐ 委託 ☐ 補助金 ☐ その他					
指標名		26年度実績	27年度実績	28年度目標	29年度目標	30年度目標	単位
活動指標 実施した事業の活動量を示す指標	1 審議会・策定委員会の開催回数		3	7			回
	2						
成果指標 対象にどのような効果があったか示す指標	後期基本計画策定の進捗割合		10	—	—	—	%
	目標達成率(実績/目標)		100.0	—	—	—	%
今年度の進捗状況		計画どおり		事業全体の進捗状況		計画どおり	

(千円)

財源内訳	年 度	区分	国	県	地方債	その他特定財源	一般財源	事業費計
	平成27年度	当初予算額	0	0	0	0	1,173	1,173
		全体予算額	0	0	0	0	1,151	1,151
		決算額	0	0	0	0	902	902
		繰越額	0	0	0	0	0	0
		人件費	正規職員(6,859千円/人)		臨時職員(2,071千円/人)		総人件費	
	0.3		0.0		2,058		2,960	

【事務事業名：第六次総合計画（後期基本計画）策定事業】

財源推移	年 度	26年度決算	27年度決算	28年度	29年度	30年度
	事業費		902	2,879		
	うち一般財源		902	2,879		
	人件費		2,058	2,058		
	総事業費		2,960	4,937		

◎項目別評価(CHECK)

◎総合計画編（CHIEF）

評価項目		評価値		所見欄
①活動に対する評価	有効性	B:概ね有効性があった		計画の策定にあたり、市民の意識を把握するために必要な取り組みである。
	効率性	A:効率的だった		調査集計等を大学に依頼することで、より詳細な分析が可能となった。
②成果に対する評価	指標名	後期基本計画策定の進捗割合		後期基本計画の策定に向けて、予定通りアンケート調査等を実施することができた。
	目標	10	%	
	実績	10	%	
	評価	A:目標を達成できた		
③総合的な評価		A		事務事業の進捗管理、意識調査等の実施により、後期基本計画の策定に参考となる資料を得ることができた。

◎今後の方向性(ACTION)

課題	第六次総合計画に掲げる将来都市像の実現に向け、平成27年に策定した「鳴門市人口ビジョン」及び「鳴門市総合戦略」の内容を踏まえるとともに、現在の社会情勢等に対応した計画の策定作業を進める。 また、平易な言葉や表現の使用に努め、周知用冊子にはイラスト等を使用するなど、親しみやすく、わかりやすい計画とする。				
今後の方向性	1.廃止	2.要改善	3.現状維持	4.拡充	3
↓今後の方向性を踏まえた上で、以下の欄に記入してください。					
実施内容	平成28年度	総合計画審議会等の開催、パブリックコメントを経て後期基本計画を策定する。			
	平成29年度				